

第137回経営協議会議事録

日 時 令和5年2月13日(月) 15時～17時10分

場 所 第一会議室

出席者 (学外委員)

川上委員、小間委員、端山委員、森口委員

(学内委員)

田野学長、小花理事、阿部理事、大家理事、三浦理事、西岡学域長、西野研究科長
(オブザーバー)

小池副学長、村松副学長、山口副学長、坂本副学長、吉海監事、名取監事

議 題

議事録報告承認

1. 第136回経営協議会議事録報告承認 (資料①)

審議事項

1. 学則の一部改正について (資料②-1～3)
2. 令和5年度予算編成方針等について (資料③-1～5)

討議事項

1. 令和5年度予算の内示と今後の予算獲得の方針について (資料④)
2. 2025年度入試での「情報1」「CBT(Computer-based Testing)」導入について (資料⑤)

報告事項

1. 脳・医工学研究センター最終評価に基づく今後の活動の推進について (資料⑥)
2. メタネットワーク研究センターの設置について (資料⑦)
3. 記者懇談会について (資料⑧)
3. 危機対策本部からの報告について (資料⑨)

議 事

議事録報告承認 第136回経営協議会議事録

田野学長から、第136回経営協議会議事録(案)について説明があり、これを承認した。

審議事項 1. 学則の一部改正について

阿部理事から、新プログラムの設置、2 Semester 4ターム並立制の導入、大学院の成績評価「秀」の導入、大学設置基準等の改正対応、定員の増加、副専攻プログラム等の学修証明及び履修証明プログラム等の特別の課程整備のための学則の一部改正について説明があり、これを了承した。

審議事項 2. 令和5年度予算編成方針等について

三浦理事から、令和5年度国立大学関係予算案の概要、令和5年度国立大学法人運営費交付金の予定額及び「成果を中心とする実績状況に基づく配分」に係る本学が重点的に対応すべき指標についての説明の後、令和5年度予算編成方針について、昨年度は基本方針に4つの柱をもうけていたが、令和5年度については、5つ目の柱として原材料等の高騰を踏まえた光熱費の確保を追加した旨の説明があり、その他の昨年度からの変更内容についても説明があり、これを了承した。また、間接経費等の活用方針については修正しない旨の説明があり、これを了承した。

主な意見は次のとおり

(学外委員) 若手研究者比率は伸びているが、ダイバーシティ環境については改善されていないようだが、ダイバーシティに関する取組みについては、予算戦略に反映されているのか。

(学内委員) 女性教員の招へい枠を作り、実際に5名の内2名は優秀な女性教員を招へいすることになった。また、教員の昇進についても女性を増やすなど、ダイバーシティを意識して改善を行っている。

(学外委員) 博士号授与の評価が低くなっているのは、どのような理由か。

(学内委員) 入学定員に対する博士号授与数及び標準修業年限内修了者数が他大学に比べて低いということ。

(学内委員) 「成果を中心とする実績状況に基づく配分」においては、博士号授与状況は重要な指標の一つである。一方で、博士課程はクオリティーコントロールも重要であると考えている。

(学外委員) 多様性という点で、女性教員を増やす努力はされているが、外国の教員をどのように増やすかを考える必要がある。

(学内委員) 現在の教員の募集要項では、学生を指導するため、日本語で授業ができることが条件となっている。しかし研究が主体の教員については、日本語が話せるという条件をなくすことも検討中である。

(学外委員) 電通大が、女性教員を増やす取組みを一生懸命行っているというアナウンスメントに工夫が必要だ。

社会から理解を得られる目標やポリシーをきちんとアナウンスすることが必要であり、そうすることで招へいがやりやすくなるのではないか。

討議事項 1. 令和5年度予算の内示と今後の予算獲得の方針について

田野学長から、令和5年度予算の内示について及び近々応募が開始される重要な事業についての本学の方針について説明があった。

主な意見は次のとおり

(学外委員) 成長分野をけん引する大学・高専の機能強化に向けた継続的支援策については、電通大の方針に沿ったものであり、是非頑張って獲得していただきたい。

討議事項 2. 2025年度入試での「情報1」「CBT(Computer-based Testing)」導入について
田野学長から、本学の入試改革の全体像、意義及びスケジュール等について説明があった。

報告事項 1. 脳・医工学研究センター最終評価に基づく今後の活動の推進について
小花理事から、脳・医工学研究センターの研究内容及び常設化することとした旨の報告があった。

報告事項 2. メタネットワーク研究センターの設置について
小花理事から、令和5年1月に設置したメタネットワーク研究センターの研究内容等について報告があった。

報告事項 3. 記者懇談会について
大家理事から、令和5年1月17日に開催した記者懇談会について報告があった。

報告事項 3. 危機対策本部からの報告について
田野学長から、危機対策本部(新型コロナウイルス感染症対応)で前回の経営協議会以降に審議、決定した内容について報告があった。

(学内委員) 電通大独自の強さは何かを明確にしたうえで、それを発信していくことが大切である。今回、国が示した新しい助成制度を電通大がどのように利用していくかは重要な意味がある。また、どのような人材を輩出するのかということについても、電通大カラーを強烈に出してほしい。若者の自由な発想力とチャレンジ精神を育てることは、将来の日本の基礎となるが、今のままでは展望が見えてこない。電通大が高度な専門性をもってどのような人材を社会に輩出するか強調していただきたい。

(学内委員) 大学として10年ぶりに記者懇談会を実施し、今後も継続して開催していくとのこととはとてもよいこと。

[配付資料]

- ①. 第136回経営協議会議事録(案)
- ②-1. 電気通信大学学則の一部改正について
- ②-2. 国立大学法人電気通信大学学則の一部改正(案)
- ②-3. 令和4年度大学設置基準等の改正に係る学則等への対応について(案)
- ③-1. 令和5年度国立大学関係予算の概要

- ③-2. 令和5年度運営費交付金予定額一覧
- ③-3. 「成果を中心とする実績状況に基づく配分」に係る本学が重点的に対応すべき指標について
- ③-4. 令和5年度予算編成方針（案）
- ③-5. 間接経費等の活用方針
- ④. 令和5年度予算の内示と今後の予算獲得の方針について
- ⑤. 2025年度入試での「情報1」「CBT(Computer-based Testing)」導入について
- ⑥. 脳・医工学研究センターの常設化
- ⑦. メタネットワーキング研究センターの新設
- ⑧. 2023年度記者懇談会の結果報告
- ⑨. 危機対策本部からの報告